

2025年度医科学研究所・大気海洋研究所合同奄美シンポジウム

プラネタリーヘルス： 医科学と海洋科学研究が描く奄美発の新航路

会 場：アマホームPLAZA マチナカホール（シンポジウム） 奄美観光ホテル（合同意見交換会）
日 時：2025年11月4日（火）～8日（土）

【1日目】 11月4日（火） 16:30-21:00
医科研シンポジウム・情報交換会
会場：アマホームPLAZA・奄美山羊島ホテル

【2日目】 11月5日（水） 9:00-18:00
医科研・SCARDAシンポジウム／奄美施設内覧会
会場：アマホームPLAZA／奄美医科学研究施設（瀬戸内町）

【3日目】 11月6日（木） 9:30-18:00
午前 大海研シンポジウム
午後 **医科研・大海研合同シンポジウム**
会場：アマホームPLAZA マチナカホール

【3日目】 11月6日（木） 19:00-21:00
医科研・大海研合同意見交換会
会場：奄美観光ホテル 平安の間

【4日目】 11月7日（金） 9:30-19:00
大海研シンポジウム／奄美施設内覧会
会場：アマホームPLAZA／奄美医科学研究施設（瀬戸内町）

【5日目】 11月8日（土） 9:30-18:00
大海研・医科研合同普及講演会（含高校生セッション）
会場：アマホームPLAZA マチナカホール

趣意書

令和7年5月吉日

東京大学医科学研究所と大気海洋研究所は、奄美の地で合同シンポジウム「プラネタリーヘルス：医科学と海洋科学研究が描く奄美発の新航路」を開催いたします。

本シンポジウムは、亜熱帯地域に根ざした二つの異なる学術分野 ―医科学研究と海洋科学研究― の出会いと融合を目指すものです。医科学研究所は、1905年（明治38年）に奄美大島に設立された東京帝国大学伝染病研究所に起源を持ち、以来120年にわたり、熱帯・亜熱帯を中心とした感染症研究・霊長類研究を継続、維持してきました。一方、大気海洋研究所は、奄美周辺を流れる黒潮の観測・解析を通じて、地球規模の気候変動と海洋環境を理解する新たな研究教育プロジェクト「亜熱帯・Kuroshio研究教育拠点の形成と展開」を2021年から開始しました。

いずれの研究所も関連部局や国内外研究機関、大学等と連携して、奄美というフィールドに長年にわたり関わり、独自の知見を蓄積してきました。本シンポジウムでは、そうした蓄積を共有し、自然環境・生態系・地域社会の健康に対する包括的な理解を目指して、学際的な連携と新たな研究の萌芽を育みます。変動する気候、人の移動、そして新興感染症など現代的課題に向き合う今、海洋と医科学の知見が交差することは、持続可能な未来に向けた新たな知の創出につながると信じています。

奄美という豊かな自然と文化の中で、学術と地域、過去と未来、そして異なる分野の知が融合する機会となることを願い、広く皆さまのご参加をお待ちしております。

謹白

開催概要

集会：2025年東京大学 医科学研究所・大気海洋研究所合同シンポジウム「プラネタリーヘルス：医科学と海洋科学研究が描く奄美発の新航路」

日程：2025年（令和7年）11月4日（火）～8日（土）

会場：アマホームPLAZA（奄美市市民交流センター）

主催：東京大学 医科学研究所、東京大学 大気海洋研究所

お問い合わせ

東京大学 医科学研究所 教授 真下知士 〒108-8639東京都港区白金台4-6-1 ☎03-6409-2226 ✉mashimo@ims.u-tokyo.ac.jp

東京大学 大気海洋研究所 教授 横山祐典 〒277-8564千葉県柏市柏の葉5-1-5 ☎04-7136-6141 ✉yokoyama@aori.u-tokyo.ac.jp